

博士課程教育リーディングプログラム 平成 23 年度 プログラム実施状況報告書

採 択 年 度	平成 23 年度		
プログラム名	サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム	申請大学長名	濱田 純一
申請大学名	東京大学	プログラム責任者名	上田 卓也
申 請 類 型	複合領域型（環境）	プログラムコーディネーター名	味埜 俊

<プログラム進捗状況概要>

1. プログラムの目的・大学の改革構想

本プログラムは、21世紀に人類が直面する地球・社会・人間システムに関わる課題を解決し、持続可能(サステイナブル)な社会の構築に貢献できる、幅広い知識、高度な専門性、俯瞰的な見識・倫理観、さらにはグローバルリーダーとしてのスキルを身につけた人材の養成を目標とする。そのための教育改革として、①新領域創成科学研究科のネットワークと関連部局の連携教員グループからなる、全学的なサステイナビリティ学の連携ネットワークを構築する。一方、先導的な教育研究を実施してきた国内外の大学とネットワークを構築し、学生の興味や研究上の必要に応じた広範な研究教育の機会を提供する。②とくに、国際連合大学や欧米・アジアの協定大学、企業等と連携し、専門性の高い教育や国外での修学機会を提供することにより、サステイナビリティに関わる複雑な問題の解決能力と、国際的に活躍できる表現力・語学力を養成できる環境を構築する。

2. プログラムの進捗状況

平成23年度は、以下に述べるとおり、24年度10月の学生採用に向けた体制作りを行った。

- ・プログラム担当学会議を5回開催し、運営組織体制を整備した。
- ・プログラムの実施に必要な全学規則の制定と改正、奨励金実施要項の作成、プログラム運営規則の作成を進めた。
- ・プログラムの特任職員を雇用し、特任教員・外国人教員の人事・招聘手続きを開始した。
- ・学位プログラムについては、新カリキュラムを策定した。
- ・旧プログラムからの移行準備を進め、既存学生に対する移行措置を決定した。
- ・遠隔会議システムを整備しプログラム担当者の連携と情報共有のための環境を整備した。
- ・教材作成のために、現地調査、既存の現場実践型教育プログラムとの情報共有、資料の英訳を進めた。
- ・産業界との連携を視野に企業連合との連絡を開始し、既存の国際ネットワークに加えて現地実習やインターンのための交流協定をアフリカ・ヨーロッパの3大学と新たに締結した。
- ・優秀な学生を獲得するためにパンフレット等の広報素材を作成し、国内外でプロモーションセミナーを開催した。
- ・フューチャーセンターとの連携協議を開始した。